医学部保健学科

学位プログラム：　放射線技術科学
授与する学位：　学士（保健衛生学）

教育目標

大阪大学及び医学部保健学科の教育目標のもと、学位プログラム「放射線技術科学」では将来の高度な医学、医療を担うべき、次のような能力を備えた創造性豊かで開拓精神旺盛な医療技術者及び医学研究者を育成することを目指しています。

○高度な専門性と深い学識

医療に関する深い学識の修得を目標とします。基本的な医療の知識が不十分であると、放射線技術科学の各専門分野を十分に修得することはできません。加えて最先端の放射線技術、画像検査のあらゆる分野に対応できる専門的な知識を教授します。講義だけでなく、実習などを通じた主体的なグループ学習を提供します。

○教養

人間を充分に知り、健康と社会の関係を理解し、人とコミュニケーションをとるための教養が要求されます。学生には、大学の講義だけでなく、自主的な学習や課外活動への積極的な参加を促します。

○国際性

これからのグローバル社会で活躍するために、専門知識と語学力を基盤としたリーダーシップやサポーターシップが取れる人材の育成を目指します。

○デザイン力

自分でものを考える能力や種々の問題を解決できる能力を養成し、医療従事者だけでなく、研究者としても活躍できるデザイン力を養います。

○独自の教育目標

医療技術と生体の反応を理解するため、物理学、医用工学、生物学、医学などの関連分野に関しても教授します。新規画像診断法・新規放射線治療法の開発応用など、放射線医学をより発展させた最新の知識を修得させることを目指します。

放射線技術科学の専門性に確固たる自信を持ち、国内外の医療現場、研究教育機関で力を発揮できる人材の育成を目指しています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学及び医学部保健学科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「放射線技術科学」では、国内外の研究・実践・教育の場で、専門性と語学力を基盤としたリーダーシップを発揮し、放射線技術科学の専門性に関して確固たる自信を持ち、人に対して温かい目を持つ医療人を育成するという教育目標に照らして、以下の目標を達成した学生に学士（保健衛生学）を授与します。

○高度な専門性と深い学識

・ 医療技術科学分野の高度な専門性と深い学識を得るために、主体的かつ継続的に学習する能力を有している
・ 高度専門的知識体系を総合的に活用しながら、文化、社会、環境に関連づけてグローバルな視点で理解できる

○教養

・ 高い倫理観と高度な教養を身につけ、医療・医学のプロフェッショナルであるという自覚のもとに行動できる
・ 医療技術科学分野において、目標の実現のためにリーダーシップをとることができる
・ 社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に貢献できる

○国際性

・ 英語を用いて必要な情報を多面的に収集できる
・ 国内にとどまらず世界に通用する高度な医療専門職の養成を目指す

○デザイン力

・ 会得した情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察することができる
・ 医療技術科学における新たな問題を探究するための柔軟で横断的な想像力を身につけている
・ 問題を主体的に解決するための実践的な方法をデザインできる

○独自の学習目標

・ 医療技術と生体の反応の理解に必要な、物理学、生化学、薬理学などの関連分野情報を修得できる
・ 放射線医学、イメージング技術の最新の知識を修得できる

医療分野で活躍するスペシャリストの基盤となる高度な専門性と深い学識を身につける。高い倫理観と豊かな人間性に基づき自らを律し、能動的に問題解決できるデザイン力を身につける。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学及び医学部保健学科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「放射線技術科学」では、教養教育、専門教育、及び国際性涵養教育に関する授業科目を体系的に編成し、講義、演習、実験・実習を効果的に組み合わせて、幅広い知識と教養、豊かな人間性、高い倫理観を身につけながら、放射線技術科学の理解を深め、理論と実践を科学的に追求し、放射線技術科学の研究を発展させ、医療専門資格につながる授業を展開し、科目の特性に応じた評価方法により、学修成果を適正に判断します。

＜教育課程編成の考え方＞

ヘルスサイエンスは人の健康に奉仕する学問であることから、学位プログラム「放射線技術科学」では、まず、全学共通教育において豊かな人間性と高い倫理観を身につけます。また、幅広い知識と教養に裏付けられたコミュニケーション能力の修得も行います。

専門課程では放射線技術の理論を深く学び、実習、研究を通じて科学的な視点と専門技術を修得します。

これらカリキュラムを通して、医療専門職のリーダーとして他部門から信頼される存在になれるよう知識と教養を身につけます。

＜学修内容及び学修方法＞

1 年次春学期から 2 年次の夏学期にかけて、「学問への扉」、「基盤教養教育科目」、「情報教養科目」、「健康・スポーツ教育科目」などにより教養に関する授業科目を履修し、「マルチリンガル教育科目」（第 1 外国語、第 2 外国語、グローバル理解）などの国際性に関する授業科目の履修、専門科目を修得する基礎となる専門基礎教育科目と「医療科学概論」、「放射線科学序説」、「放射線物理学」などの専門教育科目の履修を通して、医学と放射線技術科学の基礎を学びます。

2 年次秋学期から「画像解剖学」、「診療放射線診断学」など、医用画像及び画像診断の理解を深める講義と共に、「医用工学実習」、「画像解剖学実習」など実験、実習を通して専門知識の修得と並行して、専門分野以外にも視野を広げ、修得した知識を社会における課題解決に応用できる能力を養うために高度教養教育科目を履修させる。

3 年次春学期以降専門性を更に深く掘り下げ、「医用機器工学」、「放射線治療物理学」、「画像情報学」、「放射薬品化学」など、最新の放射線技術科学を学びます。3 年次秋・冬学期は大阪大学医学部附属病院放射線部で臨床実習を行い、最新医療機器を用いた最先端の医療現場における放射線技術学を学びます。

4 年次は研究室に配属され、教員とテーマを決め、特別研究（卒業研究）に取り組みます。4 年次は特別研究と並行し、診療放射線技師国家試験に向けた模擬試験、集中講義などにも参加します。

＜学修成果の評価方法＞

教養教育科目、専門科目とも、筆記試験、課題レポート、演習や実験への参加状況、実習中の討議内容などにより、シラバスの学習目標に沿って適正に評価します。特別研究（卒業研究）はテーマへの取り組み、実験レポート、プレゼンテーション、論文作成の過程を総合的に評価します。

全教育課程を通し、生命倫理に関する高い意識を持ち、放射線技術科学の発展に貢献できる人材を育成します。

医学部保健学科放射線技術科学専攻　カリキュラム・マップ

	教養	高度な専門性と深い学識	デザイン力	独自の教育目標	国際性	1年				2年				3年				4年			
						春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
教養 ○高い倫理観と高度な教養を身につけ、医療・医学のプロフェッショナルであるという自覚のもとに行動できる。 ○医療技術科学分野において、目標の実現のためにリーダーシップをとることができる。 ○社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に貢献できる。	○					情報教育科目 健康・スポーツ教育科目 学問への扉 基盤教養教育科目／アドヴァンスト・セミナー								高度教養教育科目							
高度な専門性と深い学識 ○医療技術科学分野の高度な専門性と深い学識を得るために、主体的かつ継続的に学習する能力を有している。 ○高度専門的知識体系を総合的に活用しながら、文化、社会、環境に関連づけてグローバルな視点で理解できる。		○		○		専門教育科目 放射線科学序論、放射線物理学、画像工学など								専門教育科目 実践放射線診断学、医用機器工学、放射線計測学、放射線治療物理学、放射線腫瘍学、核医学、臨地実習、医療安全管理学など							
独自の学習目標 ○医療技術と生体の反応の理解に必要な、物理学、生化学、薬理学などの関連分野情報を修得できる。 ○放射線医学、イメージング技術の最新の知識を修得できる。		○		○																	
デザイン力 ○会得した情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察することができる。 ○医療技術科学における新たな問題を探究するための柔軟で横断的な想像力を身につけている。 ○問題を主体的に解決するための実践的な方法をデザインできる。			○																		
国際性 ○英語を用いて必要な情報を多面的に収集できる。 ○国内にとどまらず世界に通用する高度な医療専門職の養成を目指す。					○	マルチリンガル教育科目 (第1外国語、第2外国語、グローバル理解)															

臨床実習・卒業研究